

## Dialog 1 Greetings -挨拶-

口語訳

Roles: Kei= K, Mrs. McDonald= M

Kei and Mrs. McDonald meet on the way to school. Both are walking.

K: Good morning, Mrs. McDonald.

M: Good morning, Kei, how are you?

K: Fine, but a bit sleepy. How are you, Mrs. McDonald?

M: I'm also sleepy. I was reading until late last night.

K: I was writing E-mails to my friends in America.

M: Do you miss them?

K: Not really, because I can always talk to them on Internet.

M: Things are different from when I first came to Japan. There wasn't such useful technology then.

K: It's a smaller world, isn't it?

M: It sure is.

圭とマクドナルド先生が学校へ行く途中で会います。二人とも歩いています。

ケ： おはようございます、マクドナルド先生。

マ： おはよう、ケイ、元気？

ケ： ええ、でもちょっと眠いです。 マクドナルド先生はどうですか？

マ： わたしも眠いのよ。 タベは遅くまで本を読んでいたので。

ケ： ぼくはアメリカの友達に E メールを書いてたんです。

マ： （アメリカの友達に）会えなくてさびしい？

ケ： そうでもないです、だっていつでもインターネットで話ができるから。

マ： わたしがはじめて日本に来たときとはずいぶん違うわね。 そのころはそんな便利な科学技術はなかったから。

ケ： 世界は小さくなって来てますよね。

マ： 本当にね。

## Target Expressions

—挨拶の表現—

このダイアログのポイントは挨拶の仕方よ。



時間帯によって挨拶を使い分けます。

Good morning. 午前中

おはよう(ございます)。

Good afternoon. 午後

こんにちは。

Good evening. 晩

こんばんは。

Good night. 就寝時

おやすみなさい)。

例： Good morning, Mrs. McDonald.

おはようございます、マクドナルド先生。

Good afternoon, class.

こんにちは、クラスの皆さん。

\* このように挨拶の後に相手の名前などを呼びかけると、より丁寧で親しみのある表現になります。

\* 時間帯に関わらず別れる時は、“Good(-)bye.”「さようなら。」または縮約形の“Bye”を用います。

\* “Hello.”/“Hi.”「やあ。」は一日中用いることができます。



## Kei's Advice

～なぜこう訳すの？

“a bit”：「少し(だけ)」副詞的に程度を表します。主に口語で用いられます。

“miss...”：「～がいないのでさびしく思う」「～に会えないのでさびしく思う」「会えなくてさびしい」となります。

“Not really.”：この“really”は否定文で表現を和らげる働きをします。直前の発話に対して「本当にそういうわけではない」「そうでもない」と答えています。

“things”：“thing”「事物」は複数形で事物の様子、つまり「事情」を意味します。

“smaller”：“small”「小さい」の比較級です。以前(マクドナルド先生が初めて日本に来た時)と比べて世界は“smaller”「より小さい」「小さくなって来ている」と述べています。

“Isn't it?”：付加疑問文。文尾に付けて、「それはそうではありませんか?」「(それはそう)ですね?」となります。相手に念を押したり、同意を求める時に用います。

“it”：事情を漠然と指す代名詞です。訳では省きます。

“It sure is.”：“It sure is a smaller world.”の略です。の繰り返しになるので、略されます。

“It sure is.”：「それは確かにそうです。」「本当にそうです。」「本当にね。」となります。

Teachers' Only 先生以外閲覧禁止

## 逐語訳

ケ： おはようございます、マクドナルド先生。

マ： おはようございます、ケイ、元気ですか？

ケ： 元気です、でも少し眠いです。 マクドナルド先生は、元気ですか？

マ： 私もまた眠いです。 私は昨夜遅くまで読書をしていました。

ケ： 私はアメリカにいる私の友達に E メールを書いていた。

マ： 君は彼らがいらないのでさびしく思いますか？

ケ： いいえ本当にそういうわけではありません、なぜなら私はいつでも彼らとインターネット上で話ができるからです。

マ： 事情は私が初めて日本に来た時とは違います。 そのころはそのような役に立つ科学技術はありませんでした。

ケ： それはより小さな世界です、それはそうではありませんか？

マ： それは本当にそうです。

「元気ですか?」と尋ねる時は“How are you?”を使います。

「元気です。」と答える時は“I'm fine.”または“Fine.”を使うのが一般的です。

答える時は“Thank you.”を付けるとよいでしょう。また相手に尋ね返すのが礼儀とされています。

例：How are you?

元気ですか?

I'm fine, thank you. How are you?

私は元気です、ありがとう。あなたは元気ですか?

\*“How are you?”の発音に注意が必要です。1 回目は“are”または“you”が高く強く、2 回目は“you”が高く強くなります。

“How are you?”

は「元気ですか?」って意味なんだね。



Target Expressions

—挨拶の表現—